

# News letter vol.173

2014年4月15日：産業機材事業本部 株式会社ゴーセン スポーツ用品部

## 東京農工大で企画展イベント『ガットのモノ作りと張実演』が行なわれました！

去る3月22日(土)、東京都小金井市にある東京農工大の科学博物館にて、『ガットのモノ作りと張り実演』と題するイベントが開かれました。

東京農工大のある小金井市は古くは養蚕業で栄えた町であり、農工大では「絹糸」に関する研究が現在も熱心に行なわれています。

今回、キャンパス内にある科学博物館において2月11日(火)から4月26日(土)まで行なわれる「絹の強さを知ろう」という企画展示にニッケが出展したことの 일환として、ニッケグループの一員であるゴーセンの製造しているラケット用ガットの製造法とその事業展開についての講義が行なわれることになったものです。

参加者は、農工大のテニス部、ソフトテニス部の学生のほか、今回のテーマにご興味のある一般の方々を含め総勢30名ほどにお集まりいただきました。

講義は二部に分かれ、第一部ではゴーセン開発課の海江田主任によるガットの製法紹介と素材・構造の違いによる性能・効果の違いを示し、このパートの後半では、ニッケの早乙女社員による「天然繊維ー絹糸(シルク)」の物性解説を行い、現代におけるシルクの意外な応用例と未来社会でのシルク用途の可能性が紹介されました。

第二部では、ガット張り実演ということで、ゴーセンの「張人」松本交右ストリンガーが実演を行いました。松本ストリンガーは、実際にラケットを張り上げながら、きちんとガットを張り上げることの重要性を示し、その合間には、数々の国際トーナメントで経験した出場選手の裏話もお話しましたので、予定の1時間はあっという間に過ぎました。

講義を聴講された方々は、シルクの蘊蓄やガットという製品の奥深さに興味を示されるとともに、これからガットを張る時には「張人」に頼みたいとのお言葉を頂戴しました。



第一部の「ガットのモノ作り」講義風景



松本ストリンガーの「張人」についての講義風景

[本件に関する問い合わせ先]  
株式会社ゴーセン  
〒540-0038 大阪市中央区内淡路町 3-1-17  
Tel 06-6942-5871



うーるん

ニッケグループ